

地域に根ざした学びとコミュニティづくり

全国社会教育職員養成研究連絡協議会常任理事
社会教育実習支援ネットワーク事務局長
出川 真也

要旨

近年、グローバル化と市場競争原理のもと、新たな貧困、格差、社会的排除、意思決定の外部化というべき事態が進んでいます。こうした中でボトムアップ型の学びを通じて自己決定と自らのマネジメントにより自分たちでコミュニティの成長発達を具現化していく方法論が改めて問われています。

講演者自身が取組んできた地域に根ざした学びと実践活動を基にしながら、コミュニティづくりを志向する学習のあり方や、人材・組織育成、実践活動における方法論や課題、今後の展開方策について考えます。

はじめに

- ・ 社会教育・生涯学習から、地域に根ざした学びとコミュニティづくりを考える
- ・ ふるさと～学生時代の経験から 長野オリンピック、フィールドワーク、社会教育との出会い
- ・ 学びの概念の拡張 学校～社会～世間に至るまで、農山漁村での学びの経験

1. 地域に根ざした学び

- (1) 自分たちの生活と仕事、暮らしから学ぶということ
- (2) 自分で自分のことを学ぶプロセスそのものが教育であるということ
課題設定（目的・目標）、学習方法、評価に至るまで自分たちで設定
- (3) 実践を視野に入れた実学的な学びであるということ

2. 地元学とコミュニティづくりの実践

東北地方での事例 - 地元で学ぶ地元学の実践から -

- (1) 「ヨソモン（外部者）」の目線の違いを活かした学びを通じた、コミュニティと自身の「価値」「可能性」の再発見
- (2) 地元学による学びの成果を活用した新たな学習実践
- (3) 学習活動の波及展開としてのコミュニティ・ビジネス活動
- (4) 地域人材育成の重要性

3. 実践の中での学びと人材育成の多様な展開可能性

大学研究室・学生・若者たちと地域住民による取組から

- (1) 離島におけるお手伝いプログラムの構築と実践
お年寄りのお手伝いを通じたサービスラーニングプログラム構想と実践
- (2) 山村における青年会との交流と学習
地域青年会との協働による若者の交流学習を通じた地場生業の創出
- (3) 都市部における交流学習と発信活動によるまちづくり展開
エリアガイドボランティア「としま案内人」と大学生・留学生との学びとまちづくり
- (4) 地域寺院を居場所としたコミュニティづくり活動「しゅりる」活動

寺院の日常的営み（お掃除と勤行）体験を通じたふれあいと居場所づくりの取組

4. 社会教育と成人教育の視点からの考察

(1) 地域の日常の多様な領域に生起するボトムアップ型の学び

横連携をつくる中で取組むべき課題を見いだす（課題志向とプロセス志向）

(2) 実学的視点からの方法原理・方法論研究、学習者特性への着目

1) 社会教育の方法原理

①自発学習の原理 ②自己学習の原理 ③相互学習の原理 ④生活即応の原理 ⑤地域性の原理

2) 多様な学習の方法

①個人学習 ②集合学習（集会学習・集団学習） ③少人数ディスカッション法 ④段階的自立法
⑤サービ斯拉ーニングなど

3) 成人学習者の特性（ノールズの指摘から）

①成人は学習において自己主導性（自己決定性）を志向する存在

②成人の蓄積した経験は、学習の貴重な資源

③成人の学習動機は社会的役割や社会的発達課題から生じる

④成人学習では生活していく力やすぐに役立つ知識や技能が求められる

4) 高齢者学習ニーズ（マクラスキーの指摘から）

① 対処的ニーズ（高齢期生活に役立つ知識や技術）

② 表現的ニーズ（活動それ自体に見出される喜び）

③ 貢献的ニーズ（他者や地域のために活動し、周囲から認められたい）

④ 影響的ニーズ（生活する環境に影響を与えたい）

⑤ 超越的ニーズ（生理機能低下、社会的役割減少という中で、精神的に伸び続けたい）

⑥ 回顧的ニーズと人生のレビュー（高齢期ならではの発達課題）※ローウィー

(3) 隣接する行動科学との連携

コミュニティ心理学、文化人類学・民俗学、社会学、福祉学など

実践へのより一層の志向「社会教育士」概念の登場

5. 多様な領域との連携を促進するアセスメントとネットワークの重要性

無理解・無関心の問題、地域（既存利害関係者）からの抵抗と反動を乗り越えるために

(1) 参加型教育アセスメントの実践

参加型地域教育アセスメント研究会による学習成果の可視化の試み

(2) 参加型教育ネットワークの構築

社会教育実習支援ネットワーク、日本社会教育士会・関連支援組織設立準備会による学習のための連携・協働づくりの試み

(3) 「地域回帰」志向の形成過程とその教育的要因の類型的・数値的解明に関する研究（科学研究費助成事業（若手 B）学術研究助成基金 H29-31）の試み

おわりに. コミュニティ拠点創造に向けて

・相互作用による学びと支え合いによる実践に向けた援助

・多世代にわたる学びの拠り所となる場と営みの推進（単なるサービスとは異なる機能と役割）